

# 第5回 日本DCD学会学術集会 in 名古屋 開催

【大会テーマ】

## 不器用な子どもへの 早期支援

～ 気づき、理解、支援、共生～

DCD(発達性協調運動症/発達性協調運動障害)は、「不器用」を代表とする協調運動発達の困難が強くあらわれる神経発達症(発達障害)のひとつです。本大会では、DCDを持つ子ども達に対する早期からの関わりや支援をテーマに、感覚統合理論に基づく発達支援についての特別講演をはじめ、療育機関における幼児期の支援、DCDの診察や健診、様々な生活場面におけるDCDへの支援についてのシンポジウムを企画しております。皆様のご参加をお待ちしております。



会期：2022年 **4月23日**  & **24日** 

大会長：名古屋市西部地域療育センター 小児科 宮地泰士  
事務局長：中京大学心理学部心理学科 明翫光宣  
主催：日本DCD学会  
後援：スポーツ庁

お問い合わせ

運営事務局：中京大学心理学部明翫研究室  
〒466-8666 愛知県名古屋市昭和区八事本町101-2  
E-mail：japan.dcd.nagoya@gmail.com

 第5回日本DCD学会

## プログラム

大会当日はライブ配信

その後1か月程度の期間、オンデマンド配信で視聴することもできます。

### 特別講演

#### ■ 感覚統合理論に基づく子ども発達支援

講師 土田玲子先生(NPO法人 なごみの杜)

### シンポジウム① ■ 療育センターにおけるDCD児への支援の実践

講師 宮地泰士先生(名古屋市西部地域療育センター)

伊藤亜季先生(名古屋市西部地域療育センター)

近藤久美先生(名古屋市北部地域療育センター)



### シンポジウム② ■ DCD児の健診・診察・支援のポイント

講師 石川道子先生(武庫川女子大学)：小児科診療でのDCDへの気づき  
～過去を振り返り未来につなげる～

斉藤まなぶ先生(弘前大学)：乳幼児期のDCD児の診察について(仮題)

柏木 充先生(市立ひらかた病院)：学齢期のDCD児の診察について～協調運動の評価を含めて～

中井昭夫先生(武庫川女子大学)：「協調」という窓を通して見えてくるもの  
～DCDの鑑別診断とニューロモデレーターとしての薬物療法～

### シンポジウム③ ■ DCD児の生活の場で支援や理解の輪を広げる

講師 岩永竜一郎先生(長崎大学)：DCD児の保護者への支援

渋谷郁子先生(華頂短期大学)：幼児期の不器用さへのアプローチ：  
保育現場の「特別ではない」支援に着目して

片桐正敏先生(北海道教育大学旭川校)：学校における発達性協調運動障害(DCD)の理解と支援

## 演題募集

演題の申込方法は、大会ホームページの「演題募集」をご参照ください。

## 参加お申込み

【第一次参加申込】2021年12月10日(金)～2022年2月28日(月)

【第二次参加申込】2022年3月1日(火)～4月10日(日)

●参加費(第一次、第二次ともに)：会員6,000円 非会員(一般)7,000円 学生1,000円

※第一次申込者の方には大会プログラム集をお届けします。

第二次申込者の方は大会ホームページから各自ダウンロードしてください。

●参加申込方法は大会ホームページの「参加申込」をご参照ください。

大会ホームページ <https://dcd5-nagoya.com/>



大会ホームページ



第5回日本DCD学会

主催：日本DCD学会 後援：スポーツ庁

運営事務局：中京大学心理学部明断研究室

〒466-8666 愛知県名古屋市昭和区八事本町101-2

E-mail: [japan.dcd.nagoya@gmail.com](mailto:japan.dcd.nagoya@gmail.com)